

コカ・コーラウエストジャパン株式会社

証券コード:2579



株主・投資家のみなさまへ

第48期 事業報告書

平成17年1月1日から平成17年12月31日まで

株主・投資家のみなさまへ.....	1
経営理念／中期経営計画	
「皆革Ⅱ GET No.1」.....	3
トピックス	5
連結財務諸表	7
会社概要／取締役・監査役・ 執行役員・グループ執行役員 ..	11
グループ会社一覧	12
株式の状況	13
株主メモ／株主優待制度	14

株主・投資家のみなさまへ

株主・投資家のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。第48期(平成17年12月期)の業績をはじめ、当社グループの方針や戦略をご報告させていただきます。

第48期(平成17年12月期)の経営概況と業績

当期における清涼飲料業界は、ミネラルウォーターおよび日本茶の牽引により市場全体では前年を上回ったものの、小売価格の低下や相次ぐ新商品投入によるコスト増加など、一段と厳しい状況にあります。

このような中、当社グループは、平成15年にスタートした中期経営計画「皆革」の達成に向け、最終年度である当期を「さらなる飛躍の年」と位置付け、種々の活動にグループ一丸となって取り組みました。

この結果、当期連結ベースの経営成績は、売上高が2,458億7千4百万円(前期比2.9%減)、営業利益は118億3千万円(前期比29.8%減)、経常利益は122億5千6百万円(前期比28.2%減)ならびに当期純利益は73億5百万円(前期比14.7%減)となりました。

「皆革」の総仕上げと次期中期経営計画に

つなげるための活動

営業面では、基幹ブランドの強化や新商品の効果的投入など、売上とシェアの拡大に向けたマーケティング活動を展開するとともに、チャネルの特性に応じた販売促進活動を積極的に行いました。

また、より効率的な販売体制の構築に向け営業拠点の再編を行うとともに、販売増加に結びつけるための自動販売機のIT化や、より新鮮な商品をお客さま・お得意さまへ提供するためのフレッシュネスの推進に継続して取り組みました。

生産・需給面におきましては、全国のコカ・コーラシステムの子会社であるナショナルビバレッジ株式会社が1月より本格稼働を開始しており、現在、当社グループと協働し、さらなる生産性の向上とコスト低減に向けた活動に取り組んでいます。

一方、当社は、事業基盤を強化しさらなる企業価値の向上を図るために近畿コカ・コーラボトリング株式会社と平成18年7月1日をもって、共同持株会社「コカ・コーラウエストホールディングス株式会社」を発足させ、両社の経営を統合することといたしました。これは、両社が一体となって盤石な経営基盤を築くことにより、持続的な成長をするために決断したものです。これまで以上にお客さま、お得意さまの立場に

立ったサービスを提供し、マーケットにおける競争優位性を確立してまいります。コカ・コーラウエストホールディングス株式会社は、日本コカ・コーラ株式会社の戦略的パートナーとして、コカ・コーラシステムの変革をリードする重要な役割を担うとともに、ステークホルダーであるお客さま、お得意さま、株主のみなさま、社員から信頼される企業作りに努めます。

「皆革」のセカンドステージへ

今後の見通しにつきましては、企業収益の回復による設備投資の増加や雇用情勢の改善などから、景気は緩やかな回復基調で推移するものの、原油価格の高騰や税負担の増加など、先行きの不透明感から、個人消費は引き続き厳しい状況が継続するものと予想されます。また、清涼飲料業界におきましても、市場成長の大きな伸びが期待できない中、企業間競争は一段と激しさを増し、経営環境はさらに厳しくなるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、今後も企業価値を増大させ、さらに成長・発展していくために、今後3カ年における中期経営計画を策定し、その経営基本方針を「皆革II GET No.1」と決めました。

この中期経営基本方針に基づき、コカ・コーラビジネスの一層の強化を図るため、グループ各社が役割・機能を徹底

追求し、グループ一体となった強力な事業運営を行ってまいります。

配当金について

平成17年12月期の期末配当金につきましては、株主のみなさまのご支援にお応えすべく1株につき20円とし、中間配当金を含めた年間配当金は、1株当たり40円とさせていただきます。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役
会 長

桜井正光



代表取締役
社長兼CEO

末吉紀雄

経営理念

当社グループは、「Our Total Happiness」と定めた経営理念のもとに、「飲料ビジネス」に経営資源を集中し、より一層の「お客さまのご満足」を追求すると同時に、企業市民としての役割である「社会への貢献」を積極的に果たし、企業経営の使命である「企業価値の創造」に取り組んでいます。

また、この「経営理念」の実現に向けて、社員一人ひとりが常に意識しておかなければならないこととして、グループとしての「行動指針」も新たに決めました。



— コカ・コーラウエストジャパングループ経営理念 —

Our Total Happiness

わたしたちは、

- ・飲料ビジネスに徹します。
- ・企業価値の増大に努めます。
- ・お客さまのご満足を追求します。
- ・やりがいを大切にします。
- ・社会に貢献します。

— コカ・コーラウエストジャパングループ行動指針 —

1. 人として、企業市民として「あたり前のことをあたり前に」行う。
2. 「なぜ」を明確にし、素早く行動する。
3. 限られた資源で、最大の成果を上げる。

中期経営計画「皆革II GET No.1」



【2006年～2008年
中期経営基本方針 **皆革II**】

「皆革」とは、

- ・全グループの役員・社員全員（皆）が自らを変える（革）
- ・全グループの役員・社員全員（皆）で会社・グループをつくり変える（革）

GET No.1

G	Growth No.1	成長 No.1
C	Consumer & Customer satisfaction No.1	お客さま・お得意さま満足 No.1
T	Transform No.1	構造改革 No.1
E	Employee satisfaction No.1	社員満足 No.1
T	Trust No.1	信頼獲得 No.1

「皆革」のセカンドステージへ

当社グループは、大いなる成長力と活力に満ち溢れるCCWJグループに生まれ変わるべく策定した中期経営計画「皆革」（2003年～2005年）に取り組んでまいりました。

今後も企業価値をさらに増大させ、成長・発展していくために、今後3カ年における中期経営計画を策定し、その経営基本方針を「**皆革II GET No.1**」と定め、推進中です。

トピックス

○ 新商品

平成17年度の
主な新商品

平成18年度の
主な新商品



○ プロモーション

● 「一(はじめ)」導入
プロモーション



● 「KUMA! COOL! SUMMER!!」
プロモーション



● 「ジョージア」マイウェイ プロモーション

● 人と環境に優しい研修施設 「さわやかトレーニングセンター」



● さわやかトレーニングセンター

平成17年10月、福岡市東区に完成した「さわやかトレーニングセンター」は、①世界一のオペレーションができる世界一のボトラーとなるための社員育成の場、②入社式などの式典および社内外関係者との会議施設、③隣接する「さわやかスポーツ広場」とあわせた青少年の健全育成の場、を目的として設立いたしました。グループ各社の様々な技術トレーニングが可能な機能を活用して社員の能力向上を図り、世界一のボトラーとなるための「人づくり」、「組織づくり」に取り組んでまいります。またオール電化など省エネ・省資源対策にも充分配慮した設備を備えており、良き企業市民として環境に優しい活力ある企業活動の実現を目指します。

● 環境保全活動

当社グループは「環境好感度No.1企業」を目指し、「地球温暖化対策」、「循環型社会の実現」、「地域貢献活動の推進」の3つの視点から環境保全活動を推進しています。

当期において、グループ8社が環境管理の国際規格であるISO14001の認証取得を完了いたしました。

さらに、「北九州さわやかリサイクルセンター」の運営による循環型社会への貢献、学校ビオトープ、学校植林等の環境教育支援活動への積極的な取り組みを行いました。

このような取り組みが評価され、日本経済新聞社が実施する第9回環境経営度ランキングにおいて食品業界で2位と大きく躍進いたしました。

当社グループは、今後も責任ある企業市民として社会やお客さまの信頼を得て、豊かな社会の実現に取り組んでまいります。



● 学校ビオトープ

◎ 主な営業の取り組み



ベンディング

ベンディングチャネルは自動販売機を通じてお客さまに商品をお届けするビジネスであり、コカ・コーラウエストジャパングループの中核となるチャネルです。

中期経営計画のもと、ベンディング事業は「お客さま・お得意さまの立場に立った自動販売機価値向上によるセールスと収益の拡大」に取り組みます。成長のための基本政策として、「CCWJグループの総力を結集した市場開発の推進と強化」、「優良ロケーションの垂直拡大と防御」、「売れる自動販売機づくりを目指した自動販売機マーケティングの進化」、「高品質を維持したオペレーションサービスの効率化」の4点を掲げ、今後の3カ年においてベンディングの位置付けをさらに強め、一本でも多くお客さまに買って飲んでいただくことを徹底します。

チェーンストア

チェーンストアチャネルはスーパーマーケットにおけるビジネスであり、消費者のニーズも高く、特に成長が著しいチャネルです。

中期経営計画ではRGM(レベニュー・グロウス・マネジメント)を推進し、お客さまへの価値提供を通じてお得意さまと協働で収益を伴った継続的な売上拡大を目指します。「売り方の質の転換」、「スリム化」、「インフラの整備」で構造改革を行うとともに、本部商談力と市場実行力で、お客さま・お得意さまの多様なニーズに応え、総合営業力を競合他社と差別化することで、ビジネスの拡大と効率化を実現します。



連結財務諸表

【流動資産】

流動資産は、前期末に比べ88億6千7百万円減少し、506億7千3百万円となりました。これは主として、コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社の本格稼働に伴い、工場および物流拠点の商品在庫等を同社へ譲渡し、たな卸資産が減少したことによるものであります。

※コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社：日本のコカ・コーラグループにおける全国サプライチェーンマネジメント構築のため、ザ・コカ・コーラカンパニーおよび全国コカ・コーラボトラー社との共同出資により平成15年4月に設立。平成15年10月から事業を開始しており、全国規模での製造・需給計画および調整業務を統括し、ボトラー各社への製品供給を行う。

【固定資産】

固定資産は、前期末に比べ103億6千2百万円増加し、1,580億3千8百万円となりました。これは主として、債券の購入等により投資有価証券が増加したことによるものであります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第47期 (平成16年12月期)	第48期 (平成17年12月期)
<資産の部>		
流動資産：		
現金及び預金	15,524	13,101
受取手形及び売掛金	13,669	11,994
有価証券	8,923	7,706
たな卸資産	12,762	7,169
繰延税金資産	812	728
その他	7,930	10,040
貸倒引当金	△ 81	△ 67
流動資産合計	59,540	50,673
固定資産：		
有形固定資産：		
建物及び構築物	18,559	18,856
機械装置及び運搬具	14,252	13,981
販売機器	17,196	15,253
土地	34,389	34,369
建設仮勘定	93	425
その他	1,344	1,398
有形固定資産合計	85,837	84,285
無形固定資産：		
連結調整勘定	34	—
その他	2,808	2,925
無形固定資産合計	2,843	2,925
投資その他の資産：		
投資有価証券	47,369	60,348
繰延税金資産	890	862
前払年金費用	7,749	6,746
その他	3,265	3,111
貸倒引当金	△ 279	△ 241
投資その他の資産合計	58,995	70,826
固定資産合計	147,676	158,038
資産合計	207,216	208,711

(単位:百万円)

科 目	第47期 (平成16年12月期)	第48期 (平成17年12月期)
<負債の部>		
流動負債:		
支払手形及び買掛金	7,891	2,809
1年以内に返済する長期借入金	203	—
未払法人税等	3,743	2,166
未払金	7,125	7,787
設備支払手形	96	183
その他	5,390	4,833
流動負債合計	24,451	17,780
固定負債:		
繰延税金負債	6,911	9,785
退職給付引当金	3,146	2,768
役員退職引当金	345	206
連結調整勘定	—	48
その他	963	120
固定負債合計	11,366	12,929
負債合計	35,817	30,709
<少数株主持分>		
少数株主持分	4,362	4,394
<資本の部>		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	35,400	35,399
利益剰余金	127,849	131,982
その他有価証券評価差額金	449	2,437
自己株式	△ 11,895	△ 11,442
資本合計	167,036	173,608
負債、少数株主持分及び資本合計	207,216	208,711

【流動負債】

流動負債は、前期末に比べ66億7千1百万円減少し、177億8千万円となりました。これは主として、コカ・コーナショナルビバレッジ株式会社の本格稼働に伴い商品代金の支払条件が変更となり、仕入債務が減少したことによるものであります。

なお、当期において借入金を返済し、当社グループにおける借入金残高はなくなりました。

【売上高】

売上高は、前期に比べ73億7千3百万減少し、2,458億7千4百万円となりました。これは主として、当社グループのエリア内販売数量は増加したものの、品種構成変化の影響等により売上高が減少したことに加え、コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社の本格稼働に伴う同社との取引方法の変更により、他ボトラーへの販売が減少したこと等によるものであります。

【営業利益】

営業利益は、前期に比べ50億2千9百万円減少し、118億3千万円となりました。これは主として、当社グループエリア内の販売において品種構成変化の影響等により売上総利益が減少したことに加え、平成15年度に行った退職給付制度変更に伴う過去勤務債務の償却等による増益効果がなくなったことによるものであります。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第47期 (平成16年12月期)	第48期 (平成17年12月期)
売上高	253,248	245,874
売上原価	139,675	138,351
売上総利益	113,572	107,523
販売費及び一般管理費	96,712	95,693
営業利益	16,860	11,830
営業外収益	1,090	1,183
受取利息	273	339
受取配当金	37	160
持分法による投資利益	44	36
不動産賃貸料	294	224
その他	440	422
営業外費用	884	758
支払利息	8	—
固定資産除却損	463	362
不動産賃貸原価	135	95
その他	276	300
経常利益	17,065	12,256
特別利益	158	2,045
固定資産売却益	71	117
投資有価証券売却益	—	62
国庫補助金収入	86	53
収用補償金	—	121
退職給付信託返還に伴う数理差異一括償却額	—	1,689
特別損失	2,564	2,100
固定資産売却損	161	66
減損損失	505	208
台風災害損失	168	—
地震災害損失	—	61
固定資産除却損	88	11
固定資産除却補償金	—	372
投資有価証券評価損	40	93
ゴルフ会員権等評価損	55	—
子会社販売体制整備費用	383	—
子会社社名変更費用	—	33
新紙幣対応費用	583	1,103
退職給付信託一部返還に伴う数理差異一括償却額	576	—
酒税追徴額	—	149
税金等調整前当期純利益	14,659	12,201
法人税、住民税及び事業税	5,310	3,222
法人税等調整額	707	1,632
少数株主利益又は少数株主損失(△)	76	40
当期純利益	8,564	7,305

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科 目	第47期 (平成16年12月期)	第48期 (平成17年12月期)
<資本剰余金の部>		
資本剰余金期首残高	35,399	35,400
資本剰余金増加高	0	—
自己株式処分差益	0	—
資本剰余金減少高	—	0
自己株式処分差損	—	0
資本剰余金期末残高	35,400	35,399
<利益剰余金の部>		
利益剰余金期首残高	122,372	127,849
利益剰余金増加高	8,564	7,305
当期純利益	8,564	7,305
利益剰余金減少高	3,087	3,173
配当金	3,057	3,106
役員賞与	30	38
自己株式処分差損	—	27
利益剰余金期末残高	127,849	131,982

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ48億9千4百万円減少し、166億7百万円のプラスとなりました。これは主として、コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社の本格稼働に伴い、同社から仕入れる商品代金の支払条件が変更となり、仕入債務が減少したことに加え、前期に比べ税金等調整前当期純利益が減少したことによるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ6億6千3百万円支出が増加し、152億5千6百万円のマイナスとなりました。これは主として固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。なお前期においては、保有していた公社債投資信託の解約により多額の収入がありましたが、当期は不動産関連事業の固定資産を売却したことにより、収入は前期と同水準となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第47期 (平成16年12月期)	第48期 (平成17年12月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,502	16,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,592	△ 15,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,991	△ 2,901
現金及び現金同等物の減少額	△ 81	△ 1,549
現金及び現金同等物の期首残高	21,869	21,788
現金及び現金同等物の期末残高	21,788	20,238

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ40億9千万円支出が減少し、29億1百万円のマイナスとなりました。これは主として、前期に資本政策の一環として自己株式の取得を行っていたことによるものであります。

会社概要

(平成17年12月31日現在)

商号: コカ・コーラウエストジャパン株式会社
本社所在地: 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
設立: 昭和35年12月20日
資本金: 152億3千1百万円
連結従業員数: 5,093名

主な事業内容: コカ・コーラ、スプライト、ファンタおよび
ジョージア等の飲料の製造・販売
上場証券取引所: 株式会社東京証券取引所(市場第一部)
(所属部) 株式会社大阪証券取引所(市場第一部)
証券会員制法人福岡証券取引所

取締役・監査役・執行役員・グループ執行役員

(平成18年3月24日現在)

取締役

代表取締役	桜井正光	会長 株式会社リコー代表取締役、社長執行役員
代表取締役	末吉紀雄	※
取締役	原田忠継	※
取締役	森井孝一	※
取締役	魚谷雅彦	日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長
取締役	松尾新彦	九州電力株式会社 代表取締役社長
取締役	榎本一彦	福岡地所株式会社代表取締役会長、 ロイヤルホールディングス株式会社代表取締役会長
取締役	石原進	九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
取締役	井上雄二	株式会社リコーグループ執行役員、 リコーリース株式会社代表取締役、社長
取締役	赤星敏明	株式会社リコー福岡支店長、 リコー九州株式会社代表取締役社長

※印の者は、執行役員を兼務しております。

監査役

常任監査役	新見泰正	常勤
常任監査役	中川龍二	常勤
監査役	平川達男	株式会社リコー 代表取締役、副社長執行役員
監査役	大内田勇	株式会社西日本シティ銀行 代表取締役、専務取締役
監査役	松崎成隆	弁護士・徳永・松崎・青藤法律事務所パートナー、 日本弁護士連合会副会長

執行役員

社長兼CEO	末吉紀雄	社長補佐(営業・ビジネスシステム・SCM担当)
副社長	原田忠継	兼営業本部長
副社長	森井孝一	社長補佐(広報・コカ・コーラウエストジャパン ユニバーシティ・CSR・総務・経営管理担当)
専務執行役員	森田聖	経営管理統括部長
常務執行役員	小田信爾	CSR統括部長
常務執行役員	磯部満夫	SCM統括部長
常務執行役員	野見山昌三	市場開発統括部長
常務執行役員	池龍彦	山口・北九州支社長

執行役員	瀬戸俊憲	パートナー推進担当部長
執行役員	久松一秋	IR室長
執行役員	津川勝造	チェーンストア営業統括部長
執行役員	佐藤繁次郎	ビジネスシステム統括部長
執行役員	時枝直剛	総務統括部長
執行役員	浜崎義明	佐賀・長崎支社長
執行役員	田口忠憲	財務部長
執行役員	姫野孝孝	福岡支社長
執行役員	麻原芳基	広島支社長
執行役員	石橋秀憲	岡山支社長
執行役員	森島康典	山陰支社長
執行役員	深見利雄	営業企画統括部長
執行役員	岡崎喜一	フードサービス営業統括部長

グループ執行役員

グループ上席執行役員	末安剛明	三笠コカ・コーラボトリング株式会社 代表取締役、社長
グループ上席執行役員	河辺捷義	コカ・コーラウエストジャパンロジスティクス株式会社 代表取締役、社長
グループ上席執行役員	河三宅俊樹	鷹正栄株式会社 代表取締役社長
グループ上席執行役員	木原伸司	三笠コカ・コーラボトリング株式会社 取締役、専務執行役員
グループ上席執行役員	柴田暢雄	コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社 代表取締役、社長
グループ上席執行役員	桂淳治	コカ・コーラウエストジャパンペンティング株式会社 代表取締役、社長
グループ上席執行役員	佐古幸男	西日本ビバレッジ株式会社 代表取締役、社長
グループ上席執行役員	柴田卓男	コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社 取締役、常務執行役員
グループ執行役員	山崎正雪	大山ビバレッジ株式会社 常務取締役工場長
グループ執行役員	萩原幹才	コカ・コーラ・ビバレッジサービス株式会社 標準システム推進部長
グループ執行役員	福田恒夫	コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社 取締役、執行役員

グループ会社一覧 (平成18年3月24日現在)

西日本ビバレッジ株式会社

- **主な事業内容** 飲料の販売
- **本社所在地** 福岡市東区箱崎ふ頭五丁目1番6号
- **資本金** 100百万円 ● **代表者** 佐古 幸男

株式会社ニチペイ

- **主な事業内容** 食品の加工
- **本社所在地** 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜6番9号
- **資本金** 80百万円 ● **代表者** 合原 昭

コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社

- **主な事業内容** 飲料の製造
- **本社所在地** 佐賀県鳥栖市轟木町二本松1670の2
- **資本金** 100百万円 ● **代表者** 柴田 暢雄

鷹正宗株式会社

- **主な事業内容** 酒類の製造・販売
- **本社所在地** 福岡県久留米市大善寺町黒田297番地
- **資本金** 90百万円 ● **代表者** 三宅 俊樹

コカ・コーラウエストジャパンベンディング株式会社

- **主な事業内容** 自動販売機のオペレーション業務
- **本社所在地** 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
- **資本金** 80百万円 ● **代表者** 桂 淳治

ウエストジャパンスービス株式会社

- **主な事業内容** 保険代理業、リース業、不動産関連事業
- **本社所在地** 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
- **資本金** 60百万円 ● **代表者** 村岡 甯徳

コカ・コーラウエストジャパンカスタマーサービス株式会社^(注1)

- **主な事業内容** 自動販売機関連事業
- **本社所在地** 福岡県古賀市谷山871番地
- **資本金** 22百万円 ● **代表者** 後藤 正純

三笠コカ・コーラボトリング株式会社

- **主な事業内容** 飲料の製造・販売
- **本社所在地** 奈良県天理市嘉幡町643番地
- **資本金** 4,159百万円 ● **代表者** 末安 剛明

コカ・コーラウエストジャパンロジスティクス株式会社^(注2)

- **主な事業内容** 貨物自動車運送業
- **本社所在地** 広島市中区東千田町二丁目11番20号
- **資本金** 70百万円 ● **代表者** 河辺 捷義

三笠ロジスティクス株式会社

- **主な事業内容** 貨物自動車運送業
- **本社所在地** 奈良県天理市嘉幡町643番地
- **資本金** 50百万円 ● **代表者** 黒田 正雄

注1) 平成17年4月1日に西日本カスタマーサービス株式会社より社名変更

注2) 平成17年4月1日にロジコムジャパン株式会社より社名変更

三笠サービス株式会社

- **主な事業内容** 自動販売機関連事業
- **本社所在地** 奈良県天理市嘉幡町643番地
- **資本金** 90百万円 ● **代表者** 中嶋 脩真

三笠ビバレッジサービス株式会社

- **主な事業内容** 飲料の販売
- **本社所在地** 奈良県天理市嘉幡町643番地
- **資本金** 10百万円 ● **代表者** 樽谷 中

株式の状況 (平成17年12月31日現在)

会社が発行する株式の総数： 270,000千株
発行済株式の総数： 82,898千株
株主数： 14,378名

大株主：

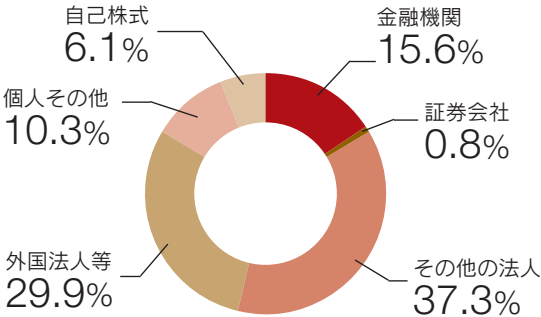
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
株式会社リコー	16,792	21.6
財団法人新技術開発財団	5,294	6.8
コカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,074	5.2
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	3,837	4.9
株式会社西日本シティ銀行	3,703	4.8
メロン バンク トリーティー クライアンツ オムニバス	3,675	4.7
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,614	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,477	3.2
昭和炭酸株式会社	1,591	2.0
高倉 一恵	1,338	1.7

(注)当社は、自己株式5,025千株を保有しておりますが、上記の表には記載せず、議決権比率の算定にも含めておりません。

所有者別株式数の状況：

	株主数(名)	所有株式数(千株)
■ 金融機関	61	12,899
■ 証券会社	23	661
■ その他の法人	298	30,933
■ 外国法人等	204	24,817
■ 個人その他	13,791	8,561
■ 自己株式	1	5,025
	14,378	82,898

〈株式数の構成比〉



株主メモ

(平成18年3月24日現在)

決 算 期 毎年12月31日

定 時 株 主 総 会 毎年3月

株 主 確 定 基 準 日

- ・ 定時株主総会、利益配当金 12月31日
- ・ 中 間 配 当 金 6月30日

その他必要があるときは、あらかじめ
公告して定めます。

名 義 書 換 代 理 人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
(〒540-8639)
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10
(〒183-8701)
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417

(その他のご照会) ☎ 0120-176-417

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

公 告 掲 載 方 法 電子公告により、当社ホームページ
(<http://www.ccwj.co.jp/koukoku/>)に掲載いたします。
ただし、電子公告によることができない事故その他の
やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載
いたします。

株主優待制度

(平成17年12月31日現在)

コカ・コーラギフト券1枚で、
500ml PET製品4本と
お引き換えいただけます。



毎年6月30日現在および12月31日現在の100株以上ご所有の
株主さまに対し、ご所有株式数に応じて右記のとおり「コカ・コーラ
ギフト券」をそれぞれ同年9月頃および翌年4月頃に贈呈いたします。
「コカ・コーラギフト券」1枚でコカ・コーラ社製品(500ml PET製品
(一部の製品を除きます))4本とお引き換えいただけます。

贈呈基準		優待内容	贈呈時期
基準日	ご所有株式数		
6月30日	100株以上 500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚 (1,764円相当)	同年9月頃
	500株以上 1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚 (2,352円相当)	
	1,000株以上 5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚 (3,528円相当)	
	5,000株以上	コカ・コーラギフト券12枚 (7,056円相当)	
12月31日	100株以上 500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚 (1,764円相当)	翌年4月頃
	500株以上 1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚 (2,352円相当)	
	1,000株以上 5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚 (3,528円相当)	
	5,000株以上	コカ・コーラギフト券12枚 (7,056円相当)	



コカ・コーラウエストジャパン株式会社

〒812-8650 福岡市東区箱崎七丁目9番66号

IR室 TEL (092) 641-8553

ホームページアドレス <http://www.ccwj.co.jp/>



古紙配合率100%再生紙を
使用しています



この冊子は環境にやさしい大豆インキを
使用しています